

平成 22 年度第1回南丹市文化財保護審議会 会議録

平成 22 年 11 月 18 日(木)午後 2 時～4 時 30 分

南丹市役所 3 階 会議室

会議出席者

文化財保護審議会委員 東会長、河原副会長、小林委員、北村委員、大槻委員、片山委員、
田中委員、新道委員、矢ヶ崎委員

市教育委員会事務局 森教育長、岸本社会教育課長、辻係長、大塚主任、井尻主査

傍聴人数 1名(定員 5 名)

1. 開会(進行:事務局)

2. あいさつ(東会長)

3. あいさつ(森教育長)

4. 協議事項

ア. 文化財保護事業について(事務局説明)

イ. 市指定樹木について(事務局説明)

ウ. 質疑応答

委 員：指定樹木の基準はどう考えているのか。

事務局：どのように守っていくのかということを所有者と協議して進めていく必要がある。

委 員：指定基準を土地の成り立ちなどを加味していけばどうか。

事務局：今後審議が必要

委 員：博物館の無料の比率が高いのはどうしてか。

事務局：ものづくりのまちづくりの一環事業が無料扱いになっている。

委 員：博物館、資料館ともにもう少し入場者が普段の展示で増えればと思う。

事務局：小学校の入場が増加している。今後も学校と連携していく。

委 員：アユモドキの活動を進めている亀岡ではふるさと納税をアユモドキ活動のような環境対策に使ってもらうよう要望して納税している人もいるように聞く。

委 員：博物館における障害者手帳による対応はどうなっているのか。また、友の会の活動をどのように考えているのか。

事務局：障害者手帳については、減免措置の対象にしている。友の会については、博物館の開館以後、立ち上げられておらず今後の課題である。

5. 現地研修

ア. 発掘調査現場（八木町野条）

イ. 樹木見学（春日神社：八木町八木本郷南）

6. 閉会

現地解散